

- 1 主題名 分けへだてなく C 公正・公平
- 2 教材名 「こんなときどうする」 (わたしたちの道徳)

3 主題設定の理由

(1) ねらいとする価値について

本学習は、「誰に対しても分け隔てをせず、公正・公平な態度で接すること」をねらいとして構成している。様々な人との関わりの中で、誰に対しても分け隔てをせず公平・公正に接することを学ぶことは、大変重要である。不公平な言動は、いじめへとつながっていくことが懸念され、いじめは、近年社会問題となっており、学校でもいじめを防止するために、アンケートの実施や、職員間での連携や共通理解を図っている。

児童は「いじめは絶対にだめだ」ということは理解している。しかしながら、道徳的価値としては「だめだ」と分かってはいても、日常生活の中で問題が起きた時、公正・公平な態度をとることは難しいことも多い。不公平な言動から発生していく、いじめという身近な差別や偏見に向き合い、誰に対しても公正・公平に接する態度を育てたいと考えた。

(2) 児童の実態

(男*名 女*名 計*名 *月*日実施)

項目	回答 (人数)
1 「不公平だな。」と感じたことは、ありますか。	はい (*人) いいえ (*人)
2 どのようなことを不公平だと感じましたか。 (複数記入可)	・ひそひそ話をされた。 ・男子は、やってもいいけど、女子はだめと言われたこと。 ・自分だけやらせてもらえない。 ・自分だけ嫌なことを押し付けられる。
3 場合によっては、不公平になることがあっても仕方ないことがあると思いますか。	はい (*人) いいえ (*人)

事前調査から、*人の児童は、場合によっては、不公平になることがあっても仕方ないと思っている。また、児童の普段の学校生活の中で、遊びの延長から、友達に暴言を吐いたり、人がされて嫌なことをしてしまったりする場面が見られる。これらのことから、児童の考えの中には、自分がしている不公平な言動が、受け取る側の児童にとっては、いじめられていると感じるという意識が育っていないように思う。

そこで、本授業を通して、不公平な言動から、いじめにつながるような場面に出会った時、どのような行動をとることがよいのか考えさせ、日常生活の中で、誰に対しても分け隔てなく、公正・公平に接する態度を育てたい。

(3) 教材について(教材名 「こんな時どうする」 出典 わたしたちの道徳)

本教材では、掃除の時間にAさんの仕事であるゴミ捨てを、BさんがCさんに頼む。DさんEさんもその様子を見ている。しかしCさんは、何も言い返さず、それが何日も続くという内容(一部内容変更)であり、その不公平な言動からいじめの発生が考えられる場面である。

不公平な言動から、いじめにつながるような場面を設定し、問題を解決するためにどのような行動をすれば良いのかを考えさせる。また、いくつかの解決策を役割演技し、立場の違う人の気持ちや他の解決策の良さにも気付かせる。そして、友達との交流を通して、自分なりのよりよい解決策を考えることを通して、誰に対しても分け隔てなく公平・公正に接する態度を育てたい。

4 本時の指導

(1) 目標

誰に対しても分け隔てをせず、公正・公平に接する態度を育てる。

(2) 資料

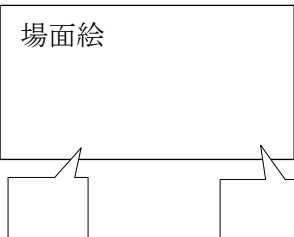
(3) 学習指導過程

学習活動・発問	予想される児童の反応	○指導上の留意点 ㊦評価 ㊧本校の研究テーマに迫る工夫
<p>1 「不公平」について考え, 問題意識をもつ。 ○「不公平だな」と思った時はありますか。どんな時ですか。</p> <p>2 教材を読んで, 問題点や解決策を考える。 ○この場面で, 「いけないな。」と感じたところはどこでしょう。 ○どうすれば良いでしょう。 ㊩よりよい解決方法は, 何でしょう。</p> <p>3 これまでの自分を振り返る。 ○公平・公正に接したことやできなかったことは, ありますか。</p> <p>4 今日の学習を通して, 思ったことを考える。</p> <p>5 教師の説話を聞く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・自分だけ嫌なことを押しつけられる。 ・自分だけやらせてもらえない。 ・Bさんが仕事を押しつけたところ。 ・AさんがBさんに注意しなかったところ。 ・Cさんが断らなかったところ。 ・周りの人が注意しなかったところ。 ・AさんがBさんに注意をする。 ・Cさんがはっきり断る。 ・周りの人が注意する。 ・周りにいる人と一緒に注意する。 ・どの方法も良いと思う。 ・先生に相談することも大切だと思う。 ・休み時間に, 下級生を遊びの仲間に入れてあげたこと。 ・同じような場面を見たことがあったけど, 言い返されるのが嫌で, 注意することができなかった。 ・自分がやられて相手が嫌な気持ちになることをしないうようにしたい。 ・これからは, 不公平なことをしている人を見たら, 注意したい。 	<p>○事前にとったアンケートを提示し, 生活を振り返らせることで, 自分事として考えられるようにすると共に, ねらいとする価値への方向づけを行う。</p> <p>○内容がつかみやすいように場面絵を提示する。</p> <p>㊦ワークシートに自分の考えをまとめてから, 話合いの時間を設けることで, 児童が発言しやすいようにする。</p> <p>○解決策の役割演技を行うことで, 立場の違う人の気持ちに気付けるようにする。</p> <p>㊧友達と交流することで, 互いのものの見方や考え方のちがいを知ることができるようにする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>㊦ 誰に対しても, 分け隔てをすることなく, 公正・公平に人と接しようとする道徳的態度について考えることができたか。 (観察, 発表, ワークシート)</p> </div> <p>○交流を通して, 今後についての思いや願いをもてるようにする。</p>

6 板書計画

/
第*回 道とく
「こんな時どうする」

場面絵



問題点

- ・Bさんが仕事をおしつけたこと。
- ・AさんがBさんに注意しなかったこと。
- ・Cさんが, はっきり断らなかったこと。
- ・周りの人が注意しなかったこと。

どうすればよいでしょう。

- ・AさんがBさんに注意する。①
- ・Cさんがきちんと断る。②
- ・周りの人が注意する。③

解決方法

①

解決方法

②

解決方法

③

よりよい解決方法は, 何でしょう。

- ・周りにいる人が一緒に注意する。
- ・先生に相談することも大切だと思う。